

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY 伊川谷校				公表日	2025年 2月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	時間帯によっては少し狭く感じる場合もあるが、事故が起きないように細心の注意を払いながら支援を実施している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	適切に職員を配置することができている。	送迎車への乗り込みの際やトイレの対応をしている際などは人員が必要になるため、臨機応変に適切な役割分担をしていく必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	トイレの扉は勢いよく閉閉してしまい危険なため、紐を取り付けて指を挟むことがないように工夫している。	玄関の鍵は2つとも児童の手が届く高さで設置されているため、さらに上にチェーンを設置する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	小窓を開けて常に換気することができている。 夏はサーキュレーター、冬は加湿器をつけるなどして、環境を整えることができている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個室はないが、必要に応じてクールダウンができる空間を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日の朝礼にて、職員間で話し合いを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	評価結果を共有し、業務の改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	気になることがあった際は、日々の朝礼時などに話し合いを行い、業務の改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者評価は現在、実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	定期的に社内で研修が行われている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	児童それぞれの状況に合わせた支援を実施し、保護者にお伝えすることができている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	できるだけ多くの職員でアセスメントやモニタリングを実施し、児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	モニタリングを行う際、複数の職員でこどもの最善の利益を考慮して検討することができている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	職員は日常的に児童発達支援計画を確認し、計画に沿った支援を実施するよう努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	両方を使用し、児童の状況を把握している。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童の状況や保護者の意向などを踏まえて必要な項目を設定し、具体的な支援内容を記している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	毎日の朝礼時に立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	過去の支援内容や様子を思い出しながら、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	毎日の朝礼時に組み合わせを決定しているが、児童の様子を臨機応変に変更しながら支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日の朝礼時に確認を行い、連携して支援を実施するよう努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	決まった終礼の時間を設けているわけではないが、翌日の朝礼時に必ず振り返りと情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日報の入力を徹底している。また、朝礼時に共有された内容は朝礼日誌にも記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施し、対象の児童の様子を振り返りながら適切な見直しができている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	6		実施されていないため参加していないが、積極的に参加していきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	提携の医療機関がある。また、児童が通っている幼稚園や保育園とは、必要に応じて連携することができている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保護者の希望がある場合は、毎月マンスリーレポートを園へお渡しすることで、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	6		就学先への情報共有は現段階では行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		現段階では特に連携はしていない。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		他の子どもと活動する機会は現段階では設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の支援の様子を保護者様にお伝えし、共通理解を図ることができるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		事業所単位では実施していないが、会社を通して講演会などが実施される際はお知らせしている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	面談時や契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	計画を更新する際に保護者様との面談を実施し、ご家族の意向を確認することができている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談の中で支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的に面談を実施することができている。また、日々のご利用時にお話しする中で出たお悩みやご相談にも適切に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者会やきょうだい同士で交流する機会などは設けられていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	ご相談や申し入れがあった際は、職員間で共有し、迅速に対応するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月マンスリーレポートを配布し、活動概要や訓練内容などの情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	厳重に管理することができている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	誰にでも伝わる言葉遣いを意識して話をするよう努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		事業所での行事は現段階では実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	職員への周知は日常的に、ご家族への周知は契約時に行っている。訓練の実施も必要に応じて行うことができている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	業務継続計画を策定し、必要な訓練の実施ができている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	契約時に必ず確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		食事の提供はしていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画に基づいて研修や訓練などを実施し、安全に支援を提供することができるよう努めている。	

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に周知することができている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日の朝礼時に共有し、再発防止をするための話し合いを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	委員会の開催や研修への参加など、適切な対応ができている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	これまで身体拘束を行った例がないが、保護者様へは身体拘束が必要な場合の流れは契約時に説明している。	